

スペシャルオリンピックスは、知的発達障害のある人たちに様々なスポーツトレーニングとその成果の発表の場である競技会を、年間を通じ提供している国際的なスポーツ組織です。SOでは、これらのスポーツ活動に参加する知的発達障害のある人たちをアスリートと呼び、多くのボランティアやアスリートのファミリーと一緒に活動を支えています。ここ富山でもSOが活動しています。現在約120名のアスリート会員が7つの競技種目に取り組んでいます。



アスリート14人、コーチ9人の選手団がフロアホッケーとアルペンスキーで活躍してきました

## 今季のエッセイ

### トーチラン in 高岡

少し前の話ですが、2004年9月26日の日曜日に、第8回スペシャルオリンピックス冬季世界大会・長野に向けた「トーチラン in 高岡」が開催されました。私は、この国際スポーツ大会を一人でも多くの方々に知っていただき、また盛り上げてもらいたいと思い、実行委員長として伴走させていただきました。

日頃はスーツでしか人前に出ないこともあり、お揃いのTシャツ姿がなんだか照れくさい気持ちでしたが、アスリートの皆さんと聖火を持って走ったことは、大変良い思い出になっています。このイベントが盛況に終わられたことも誠に嬉しいことであります。

その後、富山県内で初めて開催されたSOの陸上競技会をはじめ、各種競技会にも参加しました。ボランティアやファミリーの方々の協力で、どの競技会も熱いものになり、今後の活動に大いに役立つことと思います。

### SON・富山顧問 渡辺 守人 (富山県議会議員)

2007年SO夏季世界大会・上海に3名の方々がエントリーされました。その際のチャリティお茶会の席も大変心温まる素晴らしい催しでした。人は志を一つに支え合う気持ちが集まると、このように団結できるものなのだと再認識した次第です。私は、アスリートの皆さんにはスポーツだけでなく幅広い分野に挑戦していただきたいと考えています。

老若男女を問わず障害があろうがなかろうが、人が安心して一生を暮らせる社会でなくてはなりません。まさにノーマライゼーション(normalization)の理念のもと、頑張ってお世話をしておられる皆さんに心から敬意を表します。今後とも微力ではありますができることから携わっていきたいと思います。皆様方の健康とご多幸をお祈りします。

# 2008年第4回スペシャルオリンピックス日本冬季ナショナルゲーム・山形

選手団と一緒にやって応援してきたファミリーからのレポートです

## <開会式>

早朝6時半に出発して約10時間後の午後5時、開会式が始まりました。長旅と緊張とでアスリートの疲れもピークと思われましたが、サプライズゲストに、なんと松浦亜弥が。疲労も吹っ飛びました。でも、アスリートよりコーチの方が喜んでいって・・・本当です。



## <フロアホッケー>

2日目の9時50分から翌9日にかけて6試合を戦いました。どの試合も接戦か互角の試合で、観客席では声も囁かれの大声援。特にすごかったのは2日目、本選第2戦の対熊本。10-12と逆転に次ぐ逆転で、2時間にも及ぶ大接戦にファミリーは涙・涙でした。

3日目は最終戦と3位決定戦で、同じ山梨と二度対戦しました。会場アナウンスの「思いっきり盛大な応援を」と

聞いて、思わず「行けー！」と禁止言葉もポロリ…。でも、そこは仕方ないですよ。だって親ですもの…。

メダルには手が届かなかったけど、アスリートは金メダル級の戦いをしてくれたと思います。何より、コーチの判断に的確に反応し、一致団結してプレーしたのがすごく感動でした。コーチの皆さんのお陰です。本当にありがとうございました。



## <アルペンスキー>

蔵王の竜山ゲレンデはいつもトレーニングで滑っている極楽坂スキー場よりよりもずっと広くて長いコース。間違えずに降りて来られるかとても心配でしたが、アスリートは赤と青の旗門を上手に通過して好タイムでゴール！

表彰台で万歳している姿を見て、いつも支えて下さったコーチの方々のご苦勞を思い、涙が溢れました。メダルを取ることは目的ではありませんが、コーチへの恩返しであり他のアスリートへの励みになったと思います。ありがとうございました。



## 最近イベント

### グラウジーズとの相互支援

SON・富山は昨年5月、プロバスケットボール・bjリーグの富山グラウジーズと相互支援の協定を結びました。スポーツ活動を通じてお互いを応援していこうという取り組みです。

バスケットボールプログラムには、富山グラウジーズの選手やマネージャーの方々が、毎回、参加してくださりました。

その後は、地元試合には SON・富山から会場設



営のボランティアとして、また声援を送る観客として駆けつけています。

グラウジーズの中野マネージャーです(左)。技術的な指導はもとより、紙芝居を使った分かりやすいルール説明などを取り入れてくださり、充実したプログラムを運営することができました。グラウジーズのみなさん、ほんとうにありがとうございました。



### クリスマス会に 100 人の出席でした

12月15日(土)、午後6時30分から、ポルファート富山で開催されました。

富山県声楽家協会の中野順子さんと娘の沙枝子さん。アスリートと年代の沙枝子さんの本格的な歌声に、みな、聴き入りました。もはや SON・富山



のテーマソングになった「栄光の架橋」を全員で熱唱ですよー！

最後のお楽しみは、ちびまる子ちゃんの「アララの呪文」。今回の舞台メンバーは、みんな覚悟の「なりきり」で、ほんとうに楽しかったです！



### スノーシューイングのコーチクリニック

1月26日(土)、旧大山町にあるウエルサンピア立山で開催されました。スノーシューはみな初めての体験でした。誰にでも簡単に始められそうです。軽くて、雪の中どこでもずんずん歩いて、足首も拘束されないで、自由に動きまわれます。

実技では、実際に30メートル走をして、ディビジョニング。そのあと、決勝をして模擬表彰式もしました。2009年冬季から SON・富山の正式種目になります。



## SO アルペンスキープログラムにボランティアとして参加して

2月16日(土)のアルペンスキー競技会で、ポールに果敢に挑んでいくアスリート達の姿に胸がジーンと熱くなりました。昨年よりも速いスピードで旗門をクリアしていくアスリート。スピードが出すぎたなと思うとエッジをかけ、確実なスピードコントロールができるようになったアスリート。スキー技術が向上し、2本目のポールまでを平行で挑んでいったアスリート。「うまくなったなー」と子供達の成長に驚き、とても大きな充実感で満たされました。

5年の間、落ち続け、ようやく取得できたSAJ1級の資格を誰かの役に立てたいと何となく考えていましたが、

### コーチの独り言

「さぁ～て、今日も頑張るゾー！」と、トレーニング会場へ向かう道すがら、アスリートとファミリーの元気に負けないようにスイッチをONに。毎回このようにして始まるプログラム。でも、問題がないわけではない。

「今年は雪、降るのかな?」「コーチは集まるかな?」「今年から参加のアスリートはどんな子かな?」プログラムが始まる前には不安が募るばかりで、か細い(?)ヘッドコーチの神経はバラバラになりそうだ。



### コーチとして関わってみて

息子がフロアホッケーに参加するようになったのを機に、ファミリーコーチとしてプログラムに参加しています。練習では極力、息子以外のアスリートを担当しています。日頃、他の障害のあるお子さんと触れ合う機会がほとんどないので最初は緊張しましたが、練習に熱が入ってくると面識が浅いことも障害があることも忘れてしまいます。指導をしていてこちらの思いがアスリートに伝わった時はとても嬉しいものです。

### SOに初めて参加して

富山のスペシャルオリンピックスの活動は、グラウジーズのHPで知りました。バスケットボールを、岳志にとって“見るスポーツ”から“楽しく競技するスポーツ”にしてやりたいと、バスケプログラムの見学にも行きましたが、手続きの関係で参加できるのは冬季プログラムからとなりました。

いざトレーニングが始まってみると、「これって、雪遊びプログラム?」岳志は雪と戯れ、やさしいファミリーを見つけて甘えたい放題。コーチは、あの手この手と、



岳志をその気にさせようとしてくださるのですが、申し訳ないばかりで…。横で見ているファミリーの方は「うちの子も今はなんとか滑っているけど最初は皆そうだったよ」と慰め

## ボランティアコーチ 栄 秀樹

一昨年、縁あって金山ヘッドコーチからお誘いを受けました。今シーズンもスタッフやアスリートたちの熱意に動かされ、参加させてもらっています。



ただ、私も3児のパパであり、我が子にもスキーを教えなきゃ…と少々焦りを覚えています。心の葛藤を感じながらも、「今日は行かせてー」と家を飛び出している次第です。

## アルペンスキープログラム ヘッドコーチ 金山 彰

アルペンスキープログラムの場合、ファミリーの協力は絶対!すべてのファミリーにゲレンデに出てもらい、それぞれ役割を持ってもらう。できる限り1シーズンのトレーニング期間中は、アスリートとコーチの組み合わせを変えないようにしたい。そんなことを考えてきた今年のプログラムは、おかげさまで全てのアスリートがリフトに乗ることができた。

得意げな顔と満面の笑みで、ゲレンデ上部から確実にしっかりスキーをコントロールして滑り降りてくるアスリートの勇姿は、感動ものだ。そして、大きな怪我や事故もなく無事終了! ホッと胸を撫で下ろし、心地よい疲労に酔って……。そんなコーチの独り言でした。

## ファミリーコーチ 高畑 武志

また、ヘッドコーチをはじめ他のコーチが熱心に指導されている姿や、アスリートとの関わり方を見るのはとても勉強になります。特に、息子が他の家族と関わるのを見ることは新しい発見があり、たいへん参考になるものだと思います。

今期は残念ながら日程が合わずあまり参加できませんでしたが、アスリートの成長を見るのはとても楽しみなので、来期はもっと参加できたらと思います。

## ファミリー 大坪 恭子

てくださるのですが、それでも不安はつるばかり。

ところが、最後のトレーニングの日の午後、岳志は人が変わったようにやる気満々。朝から忍耐強く付き合ってくださったコーチとリフトに乗り、スキーで滑り降りることができました。続けて良かった! その後の記録会でもコーチと楽しそうに滑ることができて本当に嬉しい一日になりました。

実は、妙高のときもそうでしたが、トレーニングの帰り道は毎回、続けようかどうしよう……と迷っていました。私としては、プログラムの間ずっと、「本人が楽しそうにやってないのにやる意味があるのか」と自問自答していたのです。しかし、岳志のペースを大切に、忍耐強く付き合ってくださったコーチ・ファミリーのおかげで、あの嬉しそうな笑顔を見ることができました。また、プログラムにアスリートの同級生がボランティアで参加してくださっているのを見て、とても羨ましく、私たちもそんな人間関係がつくっていただけたらいいなと思いました。

## 運営委員会から

スペシャルオリンピックスの活動は、“全て”がボランティアで支えられています。

いま、SON・富山では、競技種やアスリートの増加で、ボランティア層の拡充が急務になっています。会員の皆さんにはそのあたりのご理解をいただき、お知り合いの方にぜひ、「SO のボランティア、手伝って欲しくないかしら？」と声を掛けてみてください。いえ？ ファミリーのあなたがまず、積極的にプログラムやイベントに「ボランティアとして」参加くださることを期待しています。

さて、私は 2008 年度からボランティア委員会を担当することになりましたが、新しい動きがあります。例年のバーベキュー大会やハートフルコンサートに

## ボランティア委員長 神島 健二

加え、今年から新たにスタートする“ノンスポーツプログラム”を担当することになりました。ノンスポーツプログラムは音楽とダンスを中心とした内容で、富山・高岡の2会場での開催を予定しています。4月に開催される夏季プログラム説明会で詳しく説明されますので、ぜひ参加してみてください。

### <ノンスポーツプログラムの予定>

音楽富山	5/18	6/8	6/22	7/6
音楽高岡	5/25	6/8	6/15	6/22

## 児童デイサービス事業所「わいわい塾」

## NPO 法人わいわいサポートわいわい塾代表清水剛志

「わいわい塾」では、障がいをもった子どもたちの地域生活・社会生活を応援しています。将来の自律した生活をイメージして子どもたちができること、やりたいことを見つけ自分を高めていき、信頼できる人間関係が育まれる環境づくりを目指します。子どもといっても、もうすぐ大人だと思っている中学生や高校生も利用できます。

塾では、主な活動プログラムとして「風林火山プログラム」を実施しています。それは、「風のように自由遊ぼう！」(集団での遊び、個々の遊び)、「林のように落ち着いて自分で決めることを学ぼう！」、「希望の炎(火)を絶やしません！」(就労支援・生活支援事業所との協同活動)、「山のような安心を提供します！」(専門的な助言を活用した支援プログラム)というものです。

NPO 法人わいわいサポート  
児童デイサービス事業所「わいわい塾」  
富山市蜷川 1 - 3  
電話:076-411-8989、ファックス:076-411-8987  
E-mail: waiwai.sup@mirror.ocn.ne.jp

塾の皆さんのそれぞれの余暇活動や就労を意識した活動を、子どもと一緒に計画し、実施した後は活動と一緒に振り返り、次のステップに向けて取り組んでいきたいと思ひます。



対象及び利用定員 / 18 歳までの方、1 日 10 名まで。

サービス提供及び提供時間 / 月曜日～土曜日、13:00～18:00 日曜・祝日・お盆・年末年始はお休みです。

送迎 / 富山市内の送迎に関して相談に応じます。

負担金 / 厚生労働省が定めた基準による負担額(一割負担)となります。

おおよそ 500 円程度とだけいただければよいです。おやつ代等は実費をいただきます。その他教材費等、個々に応じていただきます。

その他のサービス / 障害者自立支援法制度外のわいわいサポート独自のサービスも利用可能ですので、ご相談ください。

## パン工房 トースト

高岡大仏の近くに、おいしいパン屋さんがあるのをご存知ですか？この3月で開店1周年を迎えた「パン工房トースト」です。毎日、25～30種類の焼きたてパンが店頭並びますが、人気はアップルパイ。たっぷりリンゴが入ったサクサクパイがロングサイズで800円。リンゴ半個分の1カットが160円とお手頃です。その他の菓子パン、調理パンも100～160円とお求め安い価格です。

営業時間 10:00～17:00  
日・祝祭日休み  
高岡市大手町10-38  
tel/fax 0766-22-2665



## NPO 法人 えいぶる 事務局長

古城公園などにお越しの際はぜひご来店ください。アスリートの長久慎吾君をはじめ4名の障がいを持つ「えいぶるメイト」が元気に働く姿をご覧になれます。



## アスリート作品集（第1回）

学校や自宅で作ったもの、職場で作った作品。どれも、みんなアスリートによる創作です。今回は 2008 年冬季プログラム参加者のものを紹介します。



### テッシュアート（小川 航）

養護学校小学部の3年生の頃から毎日のようにテッシュとセロテープを使って作るようになりました。家族の間では「テッシュアート」と言っています。

### 「白銀の朝」（宇於崎 拓真）

高岡養護学校の書初め大会で書いたものです。



### クレヨン画「ぼくのランドセル」（西田 優真）

週一回、優真の手先の訓練にお絵書き教室を始めて5年が経ちます。優真の妹、いとこを含め4人で毎週、絵画や工作を楽しんでいます。



### うでずもう（開 拓人）

小学校の版画大会に出した作品です。彫刻刀を扱うのにも、ずいぶん慣れてきました。

### 風鈴（岩白 翔太）

しらとり養護学校の窯業班の作業で作りました。実際には重くて風にはなびきませんが、なかなかいい音色ですよ



## スポーツプログラム委員会より

### コーチとトレーナーのお話

スペシャルオリンピックスの活動では、主役はあくまでもアスリートです。そして、アスリートを支えるコーチにはコーチとしてのいろいろな可能性があります。SOに興味

### スポーツプログラム委員長 澤田 守弘

がある人は、もっともっといろんな可能性に挑戦してみましょう。SON・富山では、そんなコーチも応援しています！

#### <認定コーチ>

プログラムに参加しているコーチは、まずは「認定コーチ」を目指しましょう。SONが主催するコーチクリニックを受講し、10時間以上のプログラムの参加実績が必要です。認定コーチになると、SOが主催する各種大会への参加と引率が可能になります。今回のNG山形では、14名のアスリートを、9名のコーチが引率し、多くの感動を共有してきました。認定コーチは、来年開催される世界大会への参加も可能です。

#### <スポーツトレーナー>

当該競技での競技実績や関連資格、または相当のコーチング実務経験を有する人で、SOの認定コーチを養成するコーチクリニックの講師をつとめ、それぞれの専門競技での座学と実技の講義を行います。また日常のスポーツプログラムにおいては、アスリートのサポートを行いながら、コーチの育成も行います。

SON・富山では、金山彰・中村利幸両氏が、アルペンスキー競技のスポーツトレーナーとしてSONの認定を受けました。

#### <ローカルトレーナー>

SOの認定コーチを養成するコーチクリニックの講師をつとめ、SOの概要や目的等についてのゼネラルオリエンテーション、知的発達障害のある人への理解を深めるアスリート理解と、それぞれの専門競技での座学と実技の講義を行います。また日常のスポーツプログラムにおいては、アスリートのサポートを行いながら、コーチの育成も行います。

SON・富山では、澤田守弘がローカルトレーナーとしてSONの認定を受けています。

## スポーツプログラム委員会より

### 卓球プログラムはじまります

昨年に引き続き、今年も新しい種目“卓球”が増えることになりました。去る3月16日に、この卓球のコーチクリニックも開催されました。たくさんのボランティア、アスリート、ファミリーの参加があり、とても楽しそうにピンポン球を追いかけていました。

これにより、夏季プログラムは6種目7会場で展開されることとなります。アスリートにとっては、選ぶ楽しみも加

### SP事務局 開 和美

わりましたね。複数のプログラムに参加される場合は、アスリートの体力を考慮し無理のないように選びましょう。

アスリートは、トレーニング開始の15分前までに、着替えを済ませておいてください。また、体調不良などでトレーニングを休まれるときは、必ず事前にマネージャーに連絡して下さるようお願いいたします。

#### <スポーツプログラムの予定>

	トレーニング									競技会
	6/7	6/21	7/5	7/19	8/2	8/16	8/30	9/13	9/27	
陸上	6/7	6/21	7/5	7/19	8/2	8/16	8/30	9/13	9/27	
水泳富山	6/15	6/22	7/13	7/20	8/3	8/17	9/7	9/21	9/27	
水泳高岡	6/7	6/21	7/5	7/12	7/19	8/30	9/6	9/20	9/27	
ボウリング	6/15	7/6	7/13	7/27	9/7	9/21	10/5	10/19	10/26	
サッカー	6/7	6/28	7/5	7/19	8/9	8/23	9/6	9/20	10/4	
バスケット	6/14	6/28	7/12	7/26	8/9	8/23	9/6	9/13	9/28	
卓球	6/15	7/6	7/13	7/27	8/10	8/24	9/7	9/21	10/5	

水色は土曜日、ピンクは日曜日 予定は変更になる可能性があります。



- ・ 次回プログラム説明会から、ボランティア向け説明の時間を設ける。
- ・ SP 委員会のボランティアから提案のあった、ユニフォームや広報に掲載して新しい富山の顔にする SON・富山のマークを今年度中に募集・審査して決める。
- ・ 音楽療法士の先生の協力を得て、富山・高岡でونسポーツプログラムを開催。夏季 P 説明が終わってからのスタート。
- ・ ハートフルコンサートは、6月29日(日)、太閤山ランド・野外劇場。BBQ は5又は6月。
- ・ 各プログラム付きのファミリー委員、広報委員等はファミリーが順番に担当して全員で協力して実施する体制にしていく。
- ・ 医療同意書やメディカルチェックの書式について、SON 本部に対して、現行富山フォームを参照して統一的な書式の策定について求めた。
- ・ 広報は、従来の養護学校に加え教委経由での特別支援級、福祉施設への案内を拡充。ボランティアについては専門学校等への配布を拡充。

< 賛助金・寄付金をお寄せ下さった皆様 (2008年1月～2008年2月) >

敬称略

五十嵐務	岩瀬晴菜	河本都香	笹井美保	長江幸代	山崎雅和
岩瀬武	内山隆一	小坂良夫	笹井大生	林慎二	小川 航
岩瀬妙子	大津賀貴文	佐伯秀彦	笹井亜弥	前田万里子	本田 淳一
岩瀬真奈	上原恵	笹井隆康	笹井祐輔	前田恵佑	
五本水産(株)		社団法人富山県手をつなぐ育成会		富山県障害者スポーツ協会	
北陸労働金庫		小杉スポーツ			

賛助金・寄付金振込先

スペシャルオリンピックス日本・富山

(日本は、「ニッポン」としてください。)

北陸銀行本店(店番 101)、普通口座 5207770

賛助金

< 個人 > 一口 3,000 円

< 企業・団体 > 一口 10,000 円

ありがとうございました。

お問い合わせは、SON・富山事務局あてメールもしくはファックスでお願いします。

THE DOCUMENT COMPANY

FUJI XEROX

## 富士ゼロックス北陸株式会社

本社 金沢市中橋町11番18号

TEL(076)260-0900 FAX(076)260-0901

<http://www.fujixerox.co.jp/hrx/>

□本社 / 〒920-8501 金沢市中橋町11-18  
電話(076)260-0900 FAX(076)260-0901

□営業本部 / 〒920-8501 金沢市中橋町11-18  
電話(076)260-0902 FAX(076)260-0470

□七尾営業所 / 〒926-0814 七尾市所口町1部7-3  
電話(0767)53-7339 FAX(0767)53-7329

□小松オフィス / 〒923-0805 小松市御宮町13  
電話(0761)24-6636 FAX(0761)24-6637

□富山事業所 / 〒930-0005 富山市新桜町5-3  
電話(076)431-2121 FAX(076)431-7889

□高岡事業所 / 〒933-0874 高岡市京田613  
電話(0766)22-3887 FAX(0766)24-5651

□魚津営業所 / 〒937-0807 魚津市大光寺字坊丸1512-1  
電話(0765)23-0242 FAX(0765)23-0243

□富山サービスセンター / 〒930-0811 富山市千代田町9-39  
電話(076)431-2130 FAX(076)431-0320

□ビジネスパートナー営業部 / 〒920-8501 金沢市中橋町11-18  
電話(076)260-0909 FAX(076)260-0462



富士ゼロックス北陸株式会社は2001年12月12日ISO14001認証を取得しました。  
持続的社会的の実現を目指し、地球環境に配慮した活動に取り組んでいます。